

三夕 豊城時報

編集者 岡田弘成
印刷所 加納活版所
発行所 豊城時報社
印刷部 加納活版所
電話 二二二二
代金 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
郵政掛金 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
印刷部 加納活版所
電話 二二二二

頻々たる怪火は 放火魔の仕業?

犯人捜索に死者狂の 平署當局あせる

平町月見町、新川町、大町、五だたせで、其の原因は殆ど目、立町等の東部方面に今春今夏全部が放火である事に疑ひ來頻々として原因不明の怪火災なく、然も保険金詐欺とか、怨事件があり、平署當局必死の活偵等ありふれた放火でなく、特動も甲斐なく未だに解決を見な種目的をもつた智能的の者がい折柄またも最近に至り新川或は紅蓮の炎に怪奇な笑を渡ら町山上材木店の怪火、大町河田す放火狂人の仕業ではないかと鐵工場の小火等相次いで怪火見られてゐる。出現に當局の神経を極度にいら

怪火事件に曙光

平署の努力奏効か

別項平町の怪火は各れも同一人し最も有力な被疑者として目星の仕業と睨み極力犯人捜査に努を付けてゐた某々に動かす事のめてゐる平署では今三日早朝來出來ない物的証據を發見した結果方面から一人の男を引致し來果と傳へられてゐるが、さしも川島司法主任が司法室のドアの怪火事件も此れによつて一氣に堅く閉して何人も近付けず解決されるものと期待されて物々しい嚴戒裡に取調中である。が、仄聞するに必死の活動奏効

小名濱築港豫算 削減反對を陳情

昨日急施町會召集

小名濱町では二日午後一時からにより現在三百五萬圓に切詰め町會を召集商港築港初豫算三られてゐるが、更らに來年度に百八十八萬五千圓が數次の削減於いては一躍二百七十五萬圓程

鹿兒島課長 訓育院視察

内務省總務課長鹿兒島事務官は五日來郡川前巡回診察所を視察同夜は平町住吉屋に一泊六日盤城訓育院を視察の上相馬郡に向ふ筈。

江名地内で 坪刈執行

郡内稲作況は依然好天候續きでに發表された豫想通り一割以上の増收は殆んど確定的と見られてゐるが、此の稲作況最後の調査の爲め郡農會當局では來六日江名町全水田の坪刈りを行ふ事に決定したが、青山技師が出張調査する筈。

側溝工事行煩む

割當寄附金纏らず 熱のない地元各町

總工費二万四千圓で着手した平町の國道側溝工事は既に二丁目は竣成一、三兩町も今明中に完成の豫定だが、地元負擔の寄附金は完納されたもの僅に二丁目五百三十一石、燒附八十三石の何れも仕込み成である。

流石に非常時

青訓入所生三百突破

安藤子爵 物見ケ岡參詣

平町當局では過般來青年訓練所生の募集に着手したが、今日までの入所希望者三百余名の驚異的数字を示して居り、尙々切當日までは百名以上に達するも三日青沼町長の案内で物見ケ岡の豫想されるが、現在までの稲荷神社に參拜、同夜午後六時入所生に比較して實に五倍以上から井上縣議、青沼町長以下町内に有力者を招待旗亭谷口に懇宴を催し明日歸京する。

石城梨横濱へ進出

高商校から見本品注文

平町會召集 五日午後一時

近年著しく廉價を昂めた石城梨は各地からの注文殺倒し郡農會當局では此等の弊に大重の形だが、昨報の如く長十郎、大白廿世紀は既に最盛期も過ぎた折野勇吉氏が畑山知事を相手取り見本品として三種の注文が舞込んだが、勿論試験的のもので訴訟が十一月十六日第一回辯論決定したので此の重參加の承認決議を求むる外二、三であるが、前町會に於いて緑川町議の反對により保留された播磨小路

平町に電話開通の話

憎まれ乍ら勸誘した 六名の委員の懷舊談

明治四十二年十二月二十一日喜多方町に次いで七十五口の電話が平町に開通した。その頃の平町は二千六百戸、二年前に警越東線が開通し、その翌年石油ランプやカーバイド瓦斯を征服して電燈が點せられたとは言へ常磐炭田も振は

迅速と廉價

印刷物は 加納活版所

郡農議員

石城郡農會議 農事視察 員叶多清外七名は六日前五時三十分平驛發列車で出發長野縣 靜岡兩縣内の農事視察に出發する。

平町人事

出生

田町七三佐藤久吾八女千恵子 二町丁三六染野重三郎長男勇雄、大町四五佐々木藏六五女タイ子

死亡

平町古銀治町二九淺井ミツ(五)

轉居

本日から平町紺屋町元郵便局に居を移しました。電話四〇九番御利用願ひます。

岡田弘成

除いて何れも座を起つてしまつた。この六名の人々が木川局長に泣きつかれて止むを得ず委員となり電話勸誘の大役を引受けたのであつた。その年平局だけに局用電話が架設されたので、電話の使用法やその他は平局で實地について説明する事とし番號は申込順によつて希望の分を當てる事といふ條件で申込みを待つたが、その頃の平町の状態が前述の如くであつたから申込などのある筈なく、任方がないから勸誘して廻る事に委員の意見が一致した。(つづく)

女留置人の死

(四) 一警察官の手記
 S 巡査は丁度その時看守勤務にあつて居たのでN刑事から身柄を渡されると留置簿に記入しようとして型の如く女に尋ねた。だが女はそれに對して笑ひを浮べるだけであつた。彼は相手を女だと思ふと湧き上る憤りをチツと堪へた、そして再三我れ乍らと思ふ程もの優しく尋ねたが女は相變らず無言だつた。彼が少しく怒氣を含んで尋ねると「さつきの刑事さんに尋ねて下さい」と云ふのみでその顔には薄ら笑ひさへ浮べて居た。彼は「この女も女性の犯罪人特有なひねくれさ」を持つて居るのだと感ぜると其の儘留置室へ入れて、N刑事に事情を話した。刑事は「やつぱりさうか」と云ひ乍ら他の同僚を省りみるのだった。そしてあの女はね士宮ハツと云ふんだと云つて居るが今の處まだ本籍や住所なんか判らないんだ、名前だつて多分偽名だらう。何と云つても知らないの一点張りだからね。今日の事件だつて現在男の財布を持つて居つても自白しないんだ、だが現行犯には相違ないし、女も不貞腐つて居るもんだから明日にしたんだ、だが近年にない女白浪さ。看視をよくやつてくれ。N刑事はさう云ふと、今日の事件の内容をつまんで話した。それによると、女は生れ落ちるとから悲惨な浮世の風にあたり續けて來たらしく、世を呪ひし捨ばち的な氣持で悪事の數を重ね、今度もその慣行のユロ仕掛で男を啣へたものらしく、汽車中で故郷の秋田とかに歸る男と二人で温泉に夫婦と稱して浸つて居る内男の所持金をさらつて逃げる算段であつたと云ふのだ、だがそれはN刑事等の努力で失敗に終つてしまつたのだ。こんな田舎のデカに捕らへられた時の言葉だつたさうだ。

病氣に悩む方

マグネタイザ
 磁氣療法を試みられよ
 十月五日開院

工學博士藤山常一先生の大發見、日、英、米、佛、白瑞各國特許權を有する磁氣療法は醫學界を風靡し治療の奇蹟的效果について社會を驚嘆せしめてゐます。磁氣療法は從來の電氣治療とは全く異り根本的治療で着物を着たまゝ、氣持よく治療が出来絶対に副作用の危険がありません。

適應症
 血脈亢進、半身不隨、慢性胃腸、神經衰弱、不眠症、婦人諸病、精力減退、肛門病、淋病、ロイマチス、神經痛、關節炎、打撲傷、肋膜炎、肺炎、其他慢性疾患

治療時間 朝八時より夜九時まで
 治療料 一回金壹圓のころ普及のため金五拾錢

本院特派東北地方宣傳治療所 平磁氣治療院

江名町中ノ作出身 吉田代

右本人家事の都合にて退社致候
 十月一日 堀江工業株式會社

全世界に消化... 榮養... 治療 三作用を兼備せる

最新劑 商標 ヒターゼ
 活性ヘーフェ主成分を本劑は體力増進榮養素として榮養障礙、食慾不進、各種急慢性胃腸病、グイタミシ、缺乏症、脚氣、便秘、結核性諸症、肋膜炎、腦神經衰弱、血脈亢進、浮腫、病後回復期、ジンマシン、嬰兒綠便、乳兒脚氣、妊産婦の衰弱、乳汁分泌不足、其他身體諸機能の新陳代謝を旺盛にする。一回の御試用を望む。

平町五丁目 平町專賣店 山野邊藥局

●マグネトロン●

百萬の富より健康
 此新療法で病弱を御直しなさい
 マグネトロンは極めて簡單な治療器を着衣の上から施すもので憶却でなく不快ではありません。

治療代 事情により割引も一施療も致します。
 嘘か實か百聞一見御試し下さい。

治療所 日中は城山聚樂園(電話一〇九) 日没後は二丁目自宅(電話四七〇)

醫師 飯田近治

御華客様本位の弊店で今回『ひな鳥水たき』『季節の松茸料理』を始めました。風味を吟味した上精々勉強して御奉仕する考です。何卒御尊來御試食の程御待ち申して居ります。

ひな鳥 水たき
 季節の松茸料理

料理は毎日献立を替えて調理致します。
 ◎御宴會、出前は如何様にも御相談に應じます

平町字船尾町 住吉屋本店 割烹部 電話一五九番

見習 出前持

右至急入用 各々數名
 平町字二丁目

魚清食堂 電話六三三番

土地賣却廣告

- 一、平町字大町十番地 宅地五百六十四坪 (分譲致します)
- 一、同 五番地 宅地三百七十三坪四合 (同上)
- 一、同 五番地ノ二 宅地百五十四坪 (同上)
- 一、同字新川町三十三番地 宅地百九十三坪三合 (同上)
- 一、同 十七番地 二百九十一坪 (同上)

右至急賣却致します
 御希望の方は左に御相談下さい
 平町字大町四番地 中野勇吉 電話一三三番

かまぼく製造

折詰庄造
 平町一丁目 電話一四一

た惣菜用 さつま揚 吉原揚

室内裝飾設計請負

家具、漆器、銅器、佛具、雜貨會社
 本丸ほん
 營業所 福島縣平町三丁目 電話三五九番
 製作所 平町一丁目 電話一八二番